



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年11月6日

上場会社名 株式会社ラウンドワン 上場取引所 東
 コード番号 4680 URL https://www.round1.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 杉野 公彦
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 佐々江 慎二 TEL 06-6647-6600
 四半期報告書提出予定日 2020年11月9日 配当支払開始予定日 2020年12月3日
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切り捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	23,263	△56.3	△14,311	—	△14,173	—	△11,194	—
2020年3月期第2四半期	53,188	8.8	5,813	24.7	5,702	26.4	3,705	23.5

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 △11,899百万円 (—%) 2020年3月期第2四半期 3,172百万円 (△19.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	△125.66	—
2020年3月期第2四半期	38.90	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第2四半期	129,194	47,324	36.5	531.06
2020年3月期	135,839	65,141	47.8	681.91

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 47,104百万円 2020年3月期 64,958百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
2021年3月期	—	10.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

当社グループは日本国内及び米国において、総合アミューズメント事業を展開しておりますが、2020年4月以降新型コロナウイルス感染症の感染者の急増に伴うお客様及び従業員の感染リスク等を勘案し、5月下旬まで全店舗を臨時休業としておりました。2021年3月期の連結業績予想は、現時点で合理的に算出することが困難であるため、記載いたしておりません。当該連結業績予想については、開示が可能となった時点で速やかに開示する予定です。

なお、現時点での将来の業績を予想するために、有用と思われる情報を、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想等の将来予測情報に関する説明」に記載しておりますので、ご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	95,452,914株	2020年3月期	95,452,914株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	6,752,595株	2020年3月期	193,415株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	89,084,969株	2020年3月期2Q	95,261,186株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における子会社の異動)	8
(セグメント情報)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの感染症拡大防止策を講じながらも社会経済活動のレベルの引き上げが徐々に行われ、各種政策の効果を背景に足元では持ち直しの動きが見られました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の再拡大が起こる等、引き続き動向を注視していく必要がある状況が継続しております。

他方、世界経済においては、各国の財政政策等の実施により回復基調にはあるものの、新型コロナウイルス感染症の新規感染者数が増加しており、先行き不透明な状況が継続しております。

このような状況の中、当社グループは日本国内において、新型コロナウイルス感染症防止対策として、施設内の定期的なアルコール消毒や除菌スプレー等の実施に加え、施設内の利用者数を制限する等の対策を行いました。また、「ROUND 1 LIVE」を利用した企画を引き続き実施したほか、9月中旬より学生のお客様を対象にボウリング、スポッチャ及びカラオケを各990円にてご利用可能な「学生激割」や「小中学生激割」等の企画を実施しております。

米国においては、営業基盤を拡大すべく、新たにタウンイーストスクエア店(カンザス州)、ポトマックミルズ店(バージニア州)の2店舗を出店いたしました。なお、43店舗中29店舗は営業しておりますが、14店舗は引き続き臨時休業としております。

また、新型コロナウイルス感染症が当社グループに与える影響の長期化に備え、安定的かつ機動的な資金調達体制の構築を図るため、第1四半期連結会計期間において金融機関より長期借入金による資金調達及びコミットメントライン契約を締結いたしました。これにより、新型コロナウイルス感染症の影響の長期化に対応できる体制を整えております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高23,263百万円(前年同四半期比56.3%減)、営業損失14,311百万円(前年同四半期は営業利益5,813百万円)、経常損失14,173百万円(前年同四半期は経常利益5,702百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失11,194百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益3,705百万円)となりました。

なお、当社が運営する屋内型複合レジャー施設は、お盆期間やお正月期間等長期休暇の多い第2四半期及び第4四半期に売上高が増加する傾向があり、四半期毎で経営成績の偏りが生じます。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

(日本)

「ROUND 1 LIVE」を利用した「ラウチャレ」「バトルボウリング・バトルカラオケ」等の企画やファンイベントを実施しております。また、アミューズメントの最新機種「ギョ〜転!ガッポリすし 極」を先行稼働したほか、9月中旬より学生のお客様を対象にボウリング、スポッチャ及びカラオケを各990円にてご利用可能な「学生激割」「小中学生激割」等の企画を実施しております。

以上の結果、ボウリングは前年同四半期比53.2%減、アミューズメントは前年同44.6%減、カラオケは前年同61.2%減、スポッチャは前年同66.5%減となりました。

(米国)

米国における営業基盤を拡大すべく、2店舗を出店いたしました。なお、43店舗中29店舗は、各州政府・郡からの規制により営業時間の短縮等の制限を受けながらも営業しておりますが、14店舗は引き続き臨時休業としております。

以上の結果、ボウリングは前年同四半期比83.8%減、アミューズメントは前年同75.4%減、カラオケは前年同88.4%減となりました。

(その他)

その他の事業セグメントにおいては、日本・米国以外の地域に出店準備を進めております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ6,645百万円減少の129,194百万円となりました。この要因は、現金及び預金が10,421百万円減少、未収消費税等が697百万円増加、売掛金が332百万円減少したこと等による流動資産の減少10,166百万円と、繰延税金資産が3,283百万円増加、建設仮勘定が1,382百万円増加、建物及び構築物(純額)が1,171百万円減少したこと等による固定資産の増加3,520百万円によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ11,172百万円増加の81,869百万円となりました。この要因は、短期借入金が1,157百万円増加、未払消費税等が898百万円減少、未払法人税等が701百万円減少したこと等による流動負債の減少601百万円、長期借入金が12,349百万円増加、社債が583百万円減少、リース債務が291百万円増加したこと等による固定負債の増加11,773百万円によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ17,817百万円減少の47,324百万円となりました。この要因は、自己株式が5,000百万円増加、為替換算調整勘定が705百万円減少、剰余金の配当952百万円による減少と親会社株主に帰属する四半期純損失11,194百万円の計上により利益剰余金が12,147百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は36.5%（前連結会計年度末は47.8%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大により、米国における店舗の臨時休業や海外出店活動の遅延など国内外において様々な影響を受けており、依然として先行き不透明な状況が継続しております。そのため、現段階ではその影響額について合理的な算定が困難であることから、2021年3月期の連結業績予想については、記載いたしておりません。今後、連結業績予想の開示が可能となった時点で速やかに開示する予定です。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	34,515	24,094
売掛金	971	639
商品	414	364
貯蔵品	2,194	2,402
その他	4,134	4,563
流動資産合計	42,230	32,064
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	82,289	82,661
減価償却累計額	△40,780	△42,324
建物及び構築物(純額)	41,508	40,337
土地	5,736	5,736
リース資産	29,711	31,213
減価償却累計額	△11,874	△13,991
リース資産(純額)	17,837	17,221
その他	36,332	39,964
減価償却累計額	△21,059	△22,512
その他(純額)	15,273	17,452
有形固定資産合計	80,355	80,747
無形固定資産		
投資その他の資産	737	733
繰延税金資産	3,368	6,651
差入保証金	8,802	8,706
その他	343	290
投資その他の資産合計	12,515	15,648
固定資産合計	93,608	97,129
資産合計	135,839	129,194

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	204	166
短期借入金	1,561	2,718
1年内償還予定の社債	1,167	1,167
1年内返済予定の長期借入金	6,398	6,920
リース債務	8,533	8,506
未払法人税等	997	296
その他	9,114	7,600
流動負債合計	27,977	27,376
固定負債		
社債	2,507	1,923
長期借入金	15,776	28,126
リース債務	9,697	9,989
資産除去債務	6,105	6,065
その他	8,633	8,389
固定負債合計	42,720	54,493
負債合計	70,697	81,869
純資産の部		
株主資本		
資本金	25,021	25,021
資本剰余金	22,638	22,638
利益剰余金	17,657	5,510
自己株式	△340	△5,341
株主資本合計	64,976	47,828
その他の包括利益累計額		
土地再評価差額金	△138	△138
為替換算調整勘定	119	△585
その他の包括利益累計額合計	△18	△723
新株予約権	183	219
非支配株主持分	0	0
純資産合計	65,141	47,324
負債純資産合計	135,839	129,194

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	53,188	23,263
売上原価	45,692	36,036
売上総利益又は売上総損失(△)	7,496	△12,773
販売費及び一般管理費	1,682	1,538
営業利益又は営業損失(△)	5,813	△14,311
営業外収益		
受取利息及び配当金	4	6
補助金収入	10	462
その他	139	143
営業外収益合計	154	611
営業外費用		
支払利息	243	339
持分法による投資損失	—	32
その他	23	101
営業外費用合計	266	473
経常利益又は経常損失(△)	5,702	△14,173
特別損失		
固定資産除却損	298	18
減損損失	—	180
特別損失合計	298	199
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	5,403	△14,372
法人税、住民税及び事業税	749	121
法人税等調整額	948	△3,299
法人税等合計	1,698	△3,178
四半期純利益又は四半期純損失(△)	3,705	△11,194
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	3,705	△11,194

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	3,705	△11,194
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△532	△705
その他の包括利益合計	△532	△705
四半期包括利益	3,172	△11,899
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,172	△11,899
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年3月31日開催の取締役会決議に基づき、第1四半期連結会計期間に自己株式6,558,200株の取得を行いました。この結果、自己株式が4,999百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末において、自己株式が5,341百万円となっております。

(当四半期連結累計期間における子会社の異動)

連結の範囲の変更

当第2四半期連結会計期間より、当社の連結子会社であるRound One Entertainment Inc.が、米国においてRound One Maryland, LLC及びRound One Kansas, LLCを設立したため、連結の範囲に含めております。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	四半期連結財務 諸表計上金額 (注) 2
	日本	米国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	43,491	9,696	53,188	—	53,188
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	43,491	9,696	53,188	—	53,188
セグメント利益又は損失(△)	5,296	423	5,720	△18	5,702

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ロシア連邦等の現地法人の事業活動等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	四半期連結財務 諸表計上金額 (注) 2
	日本	米国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	21,253	2,009	23,263	—	23,263
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	21,253	2,009	23,263	—	23,263
セグメント損失(△)	△8,941	△4,996	△13,937	△235	△14,173

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、米国(Round One Entertainment Inc.及びその連結子会社2社)を除く海外現地法人の事業活動を含んでおります。

2. セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常損失と一致しております。

(重要な後発事象)

当社は、新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、財務基盤のより一層の安定を図ることを目的として、以下のシンジケートローン契約を締結いたしました。

契約の概要

- | | |
|----------|---|
| 1 借入金額 | 14,800百万円 |
| 2 借入先 | 株式会社三井住友銀行・株式会社三菱UFJ銀行 他3金融機関 |
| 3 契約日 | 2020年10月27日 |
| 4 実行日 | 2020年10月30日 |
| 5 契約終了日 | 2025年10月31日 |
| 6 財務制限条項 | ①2024年3月期末日及びそれ以降の各事業年度末日における連結貸借対照表に記載される純資産の部の合計金額を、2023年3月期末日における連結貸借対照表に記載される純資産の部の合計金額の75%に相当する金額、又は直近の事業年度末日における連結貸借対照表に記載される純資産の部の合計金額の75%に相当する金額のうち、いずれか高いほうの金額以上に維持すること。
②2024年3月期末日及びそれ以降の各事業年度末日における連結損益計算書に記載される経常損益を損失としないこと。 |